

成功へのキセキ 南の国の「ナデシコ」税理士

第39回 神話とパワースポットを巡る事務所旅行

事務所旅行に行ってきました！
実は、5年ぶりぐらいです。

スタッフの人数自体が増えたこともあります。子育て中のスタッフが半分以上になり、泊りがけの旅行に行けなくなったのと、ミナミの国に事務所を構えてから、毎月1週間程度の出張に出かけていて私の予定が取りづらくなったためです。
それでも、今年は男子スタッフが3名加わり、皆で旅行に行きたい！という機運が盛り上がり、企画しました。

思い返すと過去には、いろいろな場所に行ったものです。
国内では、都内の豪華ホテルプランから、横浜、甲府、伊豆、箱根、京都、金沢、松尾芭蕉の句で有名な山寺、伊勢志摩のスペイン村、長崎のハウステンボス、北海道スキー旅行などなど。
海外では、韓国、グアム、台湾、北京、オーストラリアのケアンズにまで！

今回は、まだ行ったことのない場所がいいなー。
せっかくの旅行だから、食事とホテルでは手を抜きたくありません。

とはいえ、一泊で行けるところは、限られています。飛行機をつかうと行動範囲は広がりますが、スタッフにも一部負担してもらうので、予算の面で難があり…(汗)。観光ができて、温泉があって、食事も美味しく、かつイベントもできる所がいいな♪
というわけで、今回は神話とパワースポットを巡る伊勢路の旅に決定しました。

朝7時の新幹線で東京を出発し、「伊勢市」の駅前でレンタカーを借ります。まずは、お作法にのっとって「外宮」にお詣り。三連休とあって、ものすごい人の波です。それから「内宮」にお詣りして、お神楽を申し込みました。龍笛による雅楽の演奏に合わせて、巫女さんが舞う姿は、まるで陰陽師のワンシーンのようです。

皆で、御守りを買ったあとは「おかげ横丁」へ！
なんとと言っても、赤福本店は外せません。つきたてのお餅が、

ここでしか食べられない美味しさです。

さらにガイドブックでチェック済みの、松阪牛の握り寿司(1カン500円！)と、すり身の揚げ物を買って、路地のベンチに腰掛け、学生のようにワイワイガヤガヤ、1つのお皿を皆でつつきながら楽しい昼食タイムです。

お腹がいっぱいになったら「おかげ横丁」をぶらぶらそぞろ歩き。たっぷりお土産を買い込んだところで、いざ温泉宿へ。露天風呂付きのお部屋でしたが、大浴場へレッツゴー！ゆっくりお湯につかったあとは、伊勢海老やらアワビやら、松阪牛やら、これでもかという豪華な食事を堪能しました。

食事の後は、スナックを貸し切ってカラオケ三昧です。予想されたことですが、若者 vs バブル世代は、選ぶ歌がちがいます…。さすがに知ってるでしょうと、20代から無理やり誘われ、AKB48の恋のフォーチュンクッキーを、明日は筋肉痛かもというほど踊って、楽しい夜は更けていきました。

さて翌朝は、7時に宿を出発して、憧れの「熊野古道」へ向かいます。「熊野古道」とは、伊勢と熊野を結ぶ参詣のための山道で、紀伊山地の霊場と参詣道の一部は、世界遺産にも



赤福本店前の美味しいピース



パワーあふれる熊野古道

◆筆者 原 尚美 (はら なおみ) プロフィール

税理士。東京外国語大学卒業。TACの全日本答練(現:全国公開模試)「財務諸表論」「法人税法」で全国1位の成績を収め、税理士試験に合格。直後に出産。育児と両立させるため、1日3時間だけの会計事務所からスタートし、現在は全員女性のスタッフ約30名の規模にまで成長。一部上場企業の子会社やグローバル企業の日本子会社などをクライアントにもつ。ミャンマーに会計サービスの会社を設立し、海外進出支援にも力を入れている。著書に『小さな会社のための総務・経理の仕事がわかる本』『小さな起業のファイナンス』(いずれもソーテック社)、『51の質問に答えるだけですぐできる「事業計画書」のつくり方(日本実業出版社)』『トコトンわかる株式会社のつくり方(新星出版社)』『世界一ラクにできる確定申告(技術評論社)』『一生食っていくための士業の営業術(中経出版)』など。その他、「経理ウーマン」「デイの経営と運営」など雑誌への寄稿や、商工会議所、中小企業投資育成株式会社、日本政策金融公庫などでの、セミナー実績も多数。

指定されています。

一泊の旅では熊野大社までは行けませんが、伊勢路あたりでも、旧街道の石畳が当時のまま残っていて、何ともいえないスピリチュアルな雰囲気があります。石畳の道は、苔で滑りやすく、沢から流れる水で、足元が濡れているので、思うように歩けません。紀伊山地の峠は傾斜も険しくて、予想以上にキビシイ道程でした。それでもちゃんとした街道を外れて、地元の人から勧められた絶景をみるために、峠からさらに山の頂上を目指します。

ここまでくると、本格的な登山です。巨岩がゴロゴロしている道なき道を、岩に手をつきながらよじ登ります。最後は、岩にかけられた鉄のはしごを上って、登頂！高所恐怖症の私はへっぴり腰(笑)。何とか絶景を堪能したあとは、買ってきたおにぎりで腹ごしらえです。

最後は足をひきずりながらの合計4時間の登山でしたが、山の空気は清らかで、パワーにあふれていて、心地よい疲労感に包まれました。

登山口まで戻って、午後1時。さらに車で1時間ほど走り、



この巨石を登ったら頂上



頂上にて

「花の窟」にまで、足を伸ばします。花窟神社(花の窟神社)は、『日本書紀』に「国生みの舞台」として登場する日本最古の神社です。イザナミノ尊様が葬られているという霊場で、鳥居をくぐると思わず、ワーという歓声があがるほどのパワースポットでした。

また、この辺り一帯の海岸線も世界遺産に指定されていて、素晴らしい眺めでした！

そしてそして、神話とパワースポットを巡る伊勢路の旅の最後に見たのは、夕陽と見間違えほどの紅い大きな満月でした。

今回の旅行で、事務所スタッフの絆も、さらに強くなったように思います。こんな素敵なスタッフに恵まれて、本当に私は幸せものです(！！)

好評
発売中

一生食っていくための「士業」の営業術

原 尚美 著(中経出版) 1,500円+税

カネなし。客なし。コネなし。

開業と同時に出産したため、普通の新人ならたつぷりあるはずの、時間もなし。文字通りゼロからスタートした会計事務所を、女性だけのスタッフ22名の規模にまで成長させたノウハウについて書いた本です。特別なスキルもコネも持たない、すべての平凡な個人事業者に、ビジネス拡大のヒントが満載です。

「一生食っていくための士業」の営業術
「戦略」「集客」「マーケティング」... これからの士業に必要なことがこの1冊で全部わかる!
税理士・行政書士・司法書士・社会保険労務士... 独立して働くすべての「士業」に必要! 影力のある「クライアント」を見つける「営業」を「ステップ」に分けて、専門家のスキルをつまみ食いできる
(原尚美)